

- 猛暑の中でヘルパーや訪問看護師が調査した -
訪問看護/介護利用者宅内の室温

2023年 夏

長野県民医連 医療活動部

背景と動機

調査結果

考察と提言

高齢者は熱中症により受診したり 救急搬送されやすい

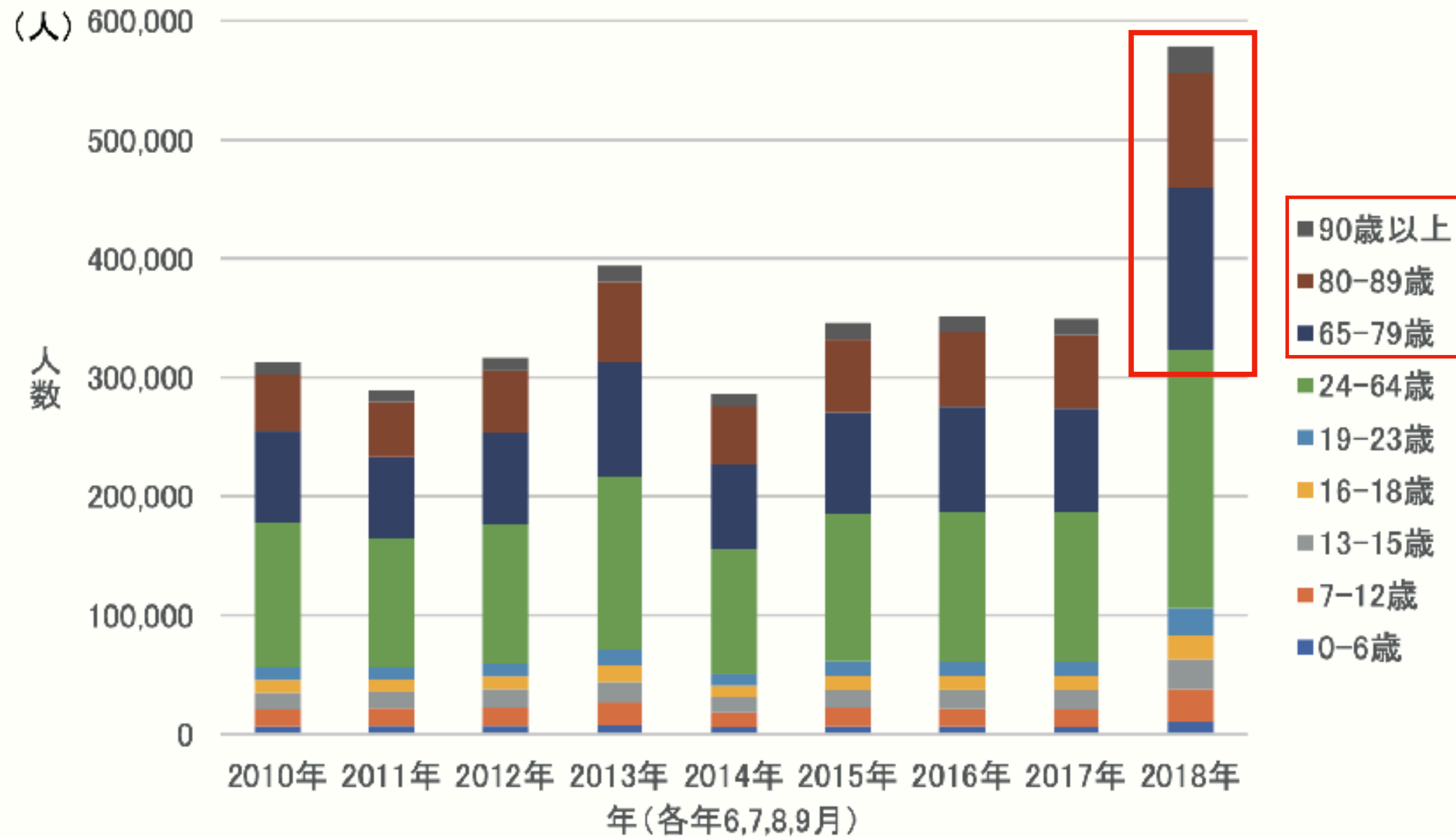
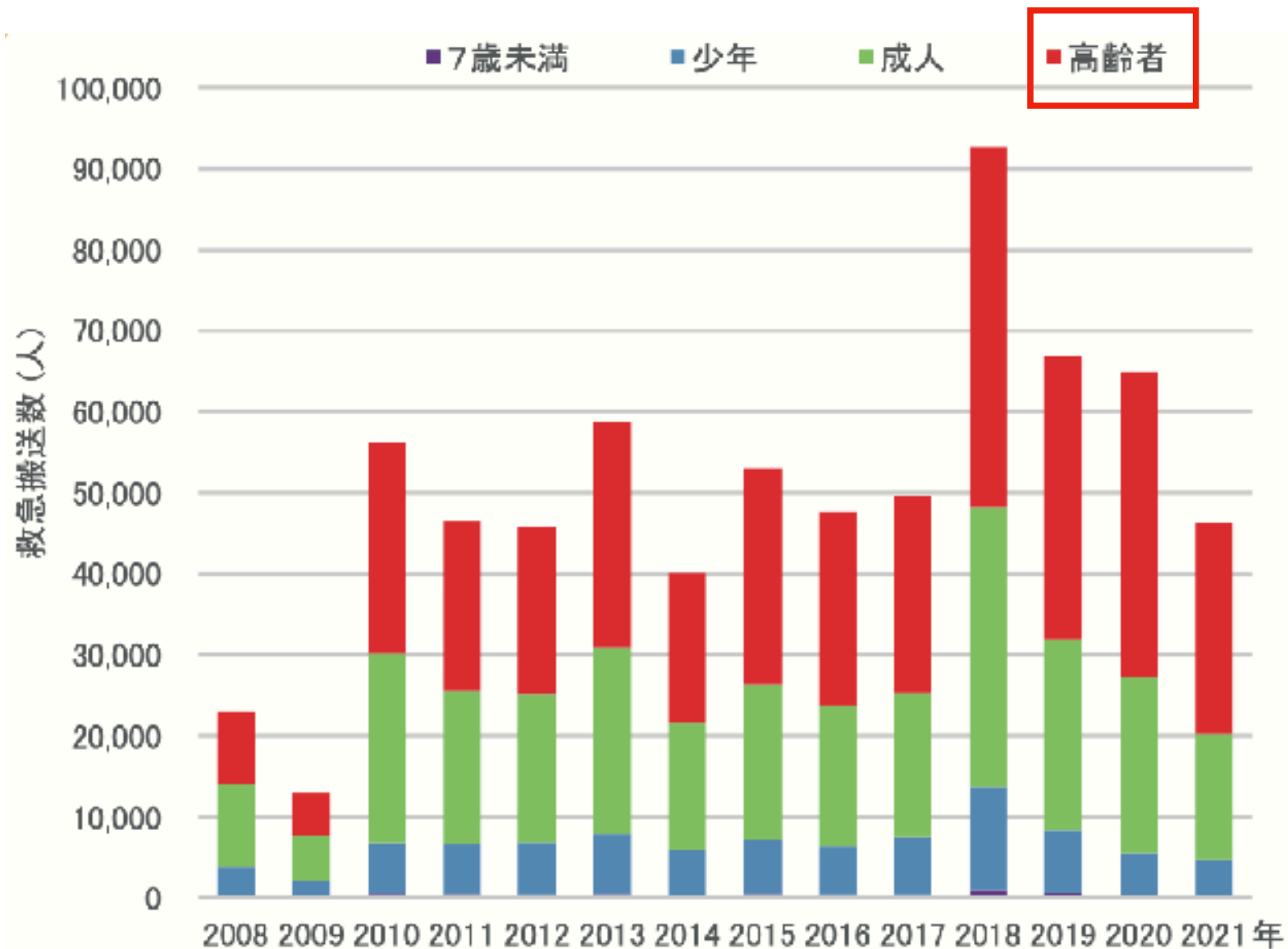


図1-8 医療機関を受診した熱中症患者数（診療報酬明細書による）

（提供：帝京大学 三宅康史氏）

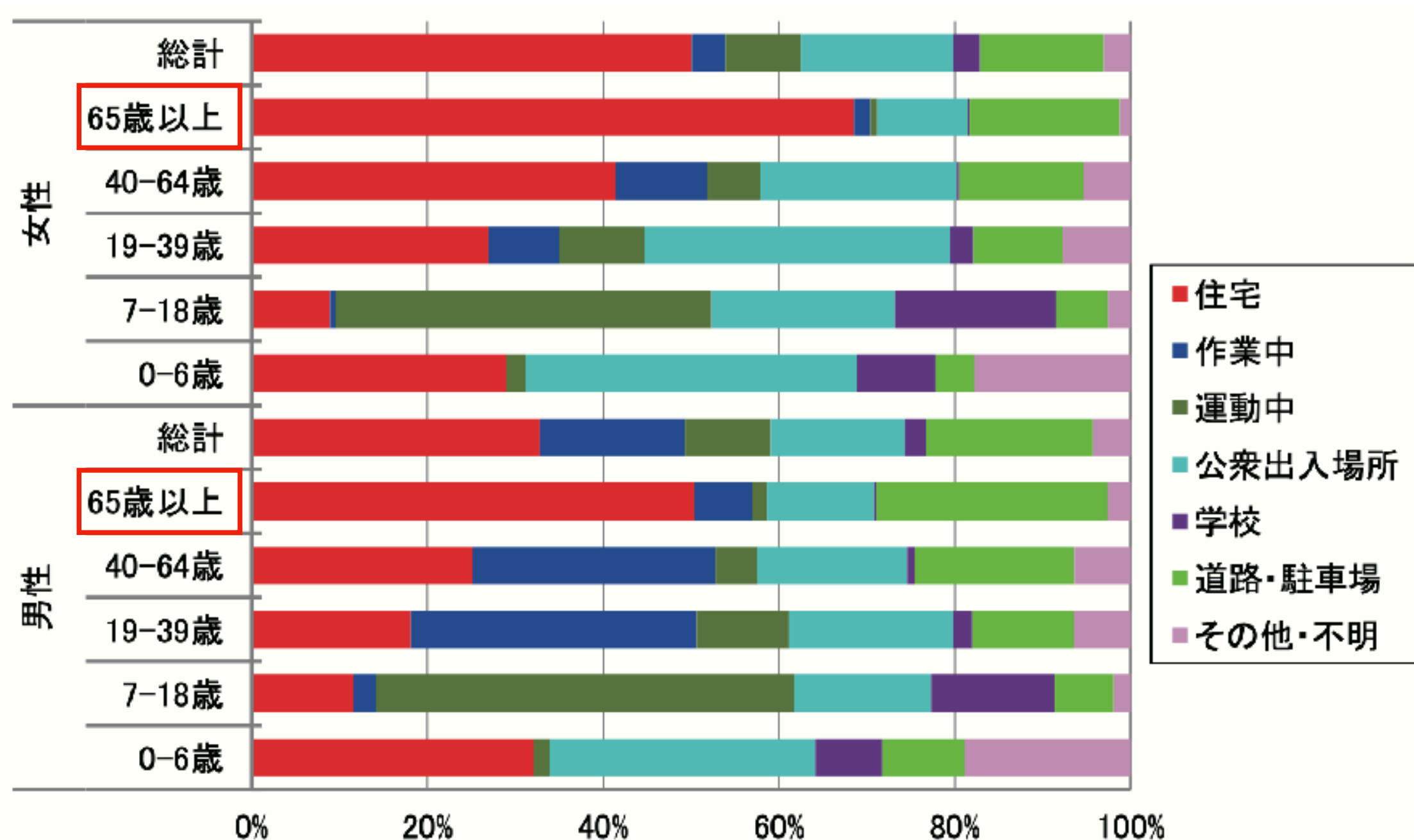
高齢者は熱中症により受診したり 救急搬送されやすい



消防庁データより作図

熱中症による救急搬送数 (6~9月)

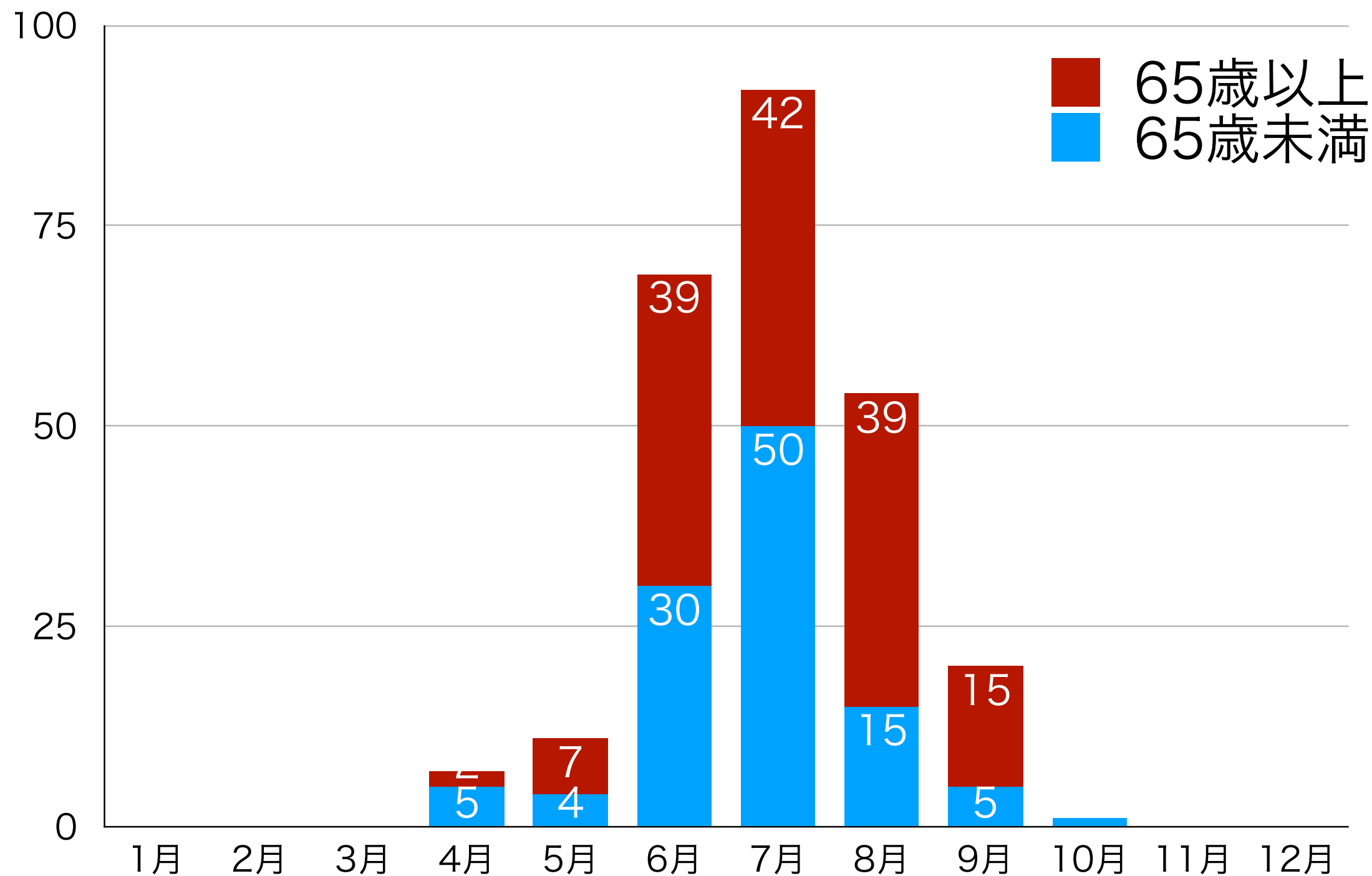
高齢者は**住宅**で熱中症になる割合が大きい



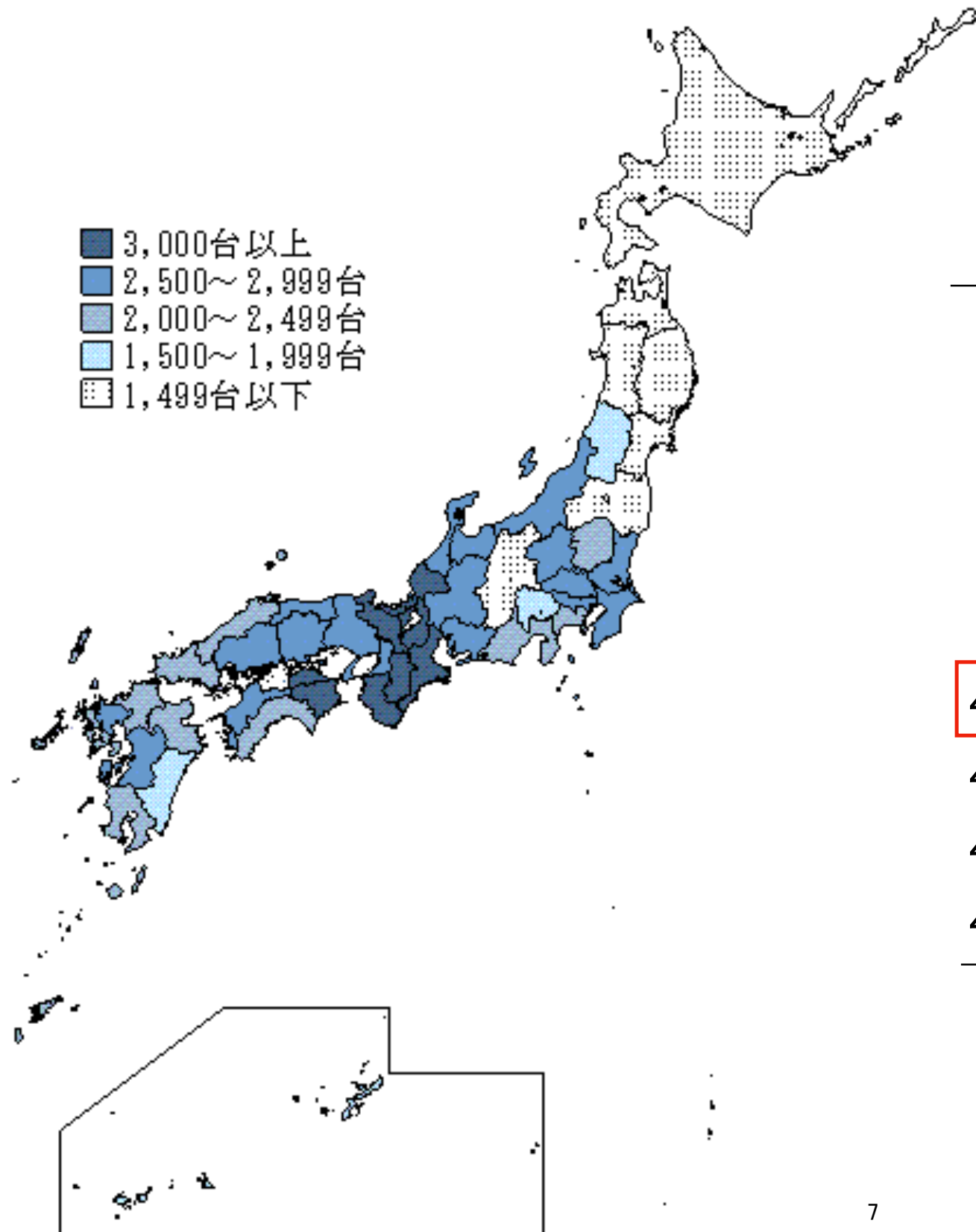
年齢階級別・発生場所別患者数割合 (2015年)

(出典：国立環境研究所)

熱中症（疑い含む）の搬送数【2022年】



エアコン所有数と普及率

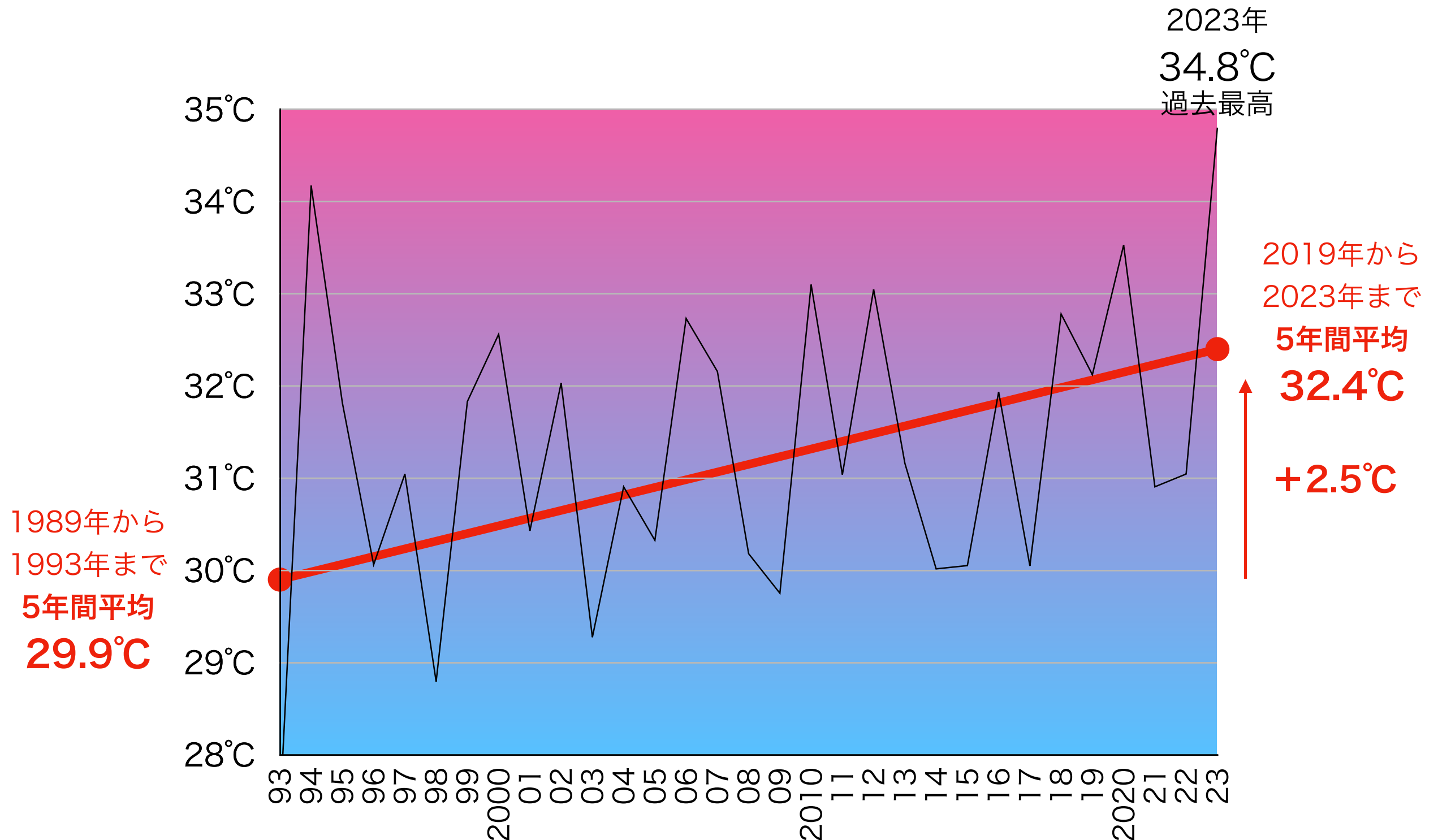


(二人以上の世帯1000あたり)

| | | 所有台数 | 普及率 |
|-----|-----|-------|-------|
| 1位 | 徳島県 | 3287台 | 95.4% |
| 2位 | 三重県 | 3168台 | 96.7% |
| 3位 | 香川県 | 3165台 | 96.1% |
| | ... | | |
| | ... | | |
| 44位 | 長野県 | 927台 | 52.9% |
| 45位 | 岩手県 | 656台 | 42.7% |
| 46位 | 青森県 | 611台 | 40.7% |
| 47位 | 北海道 | 187台 | 15.1% |

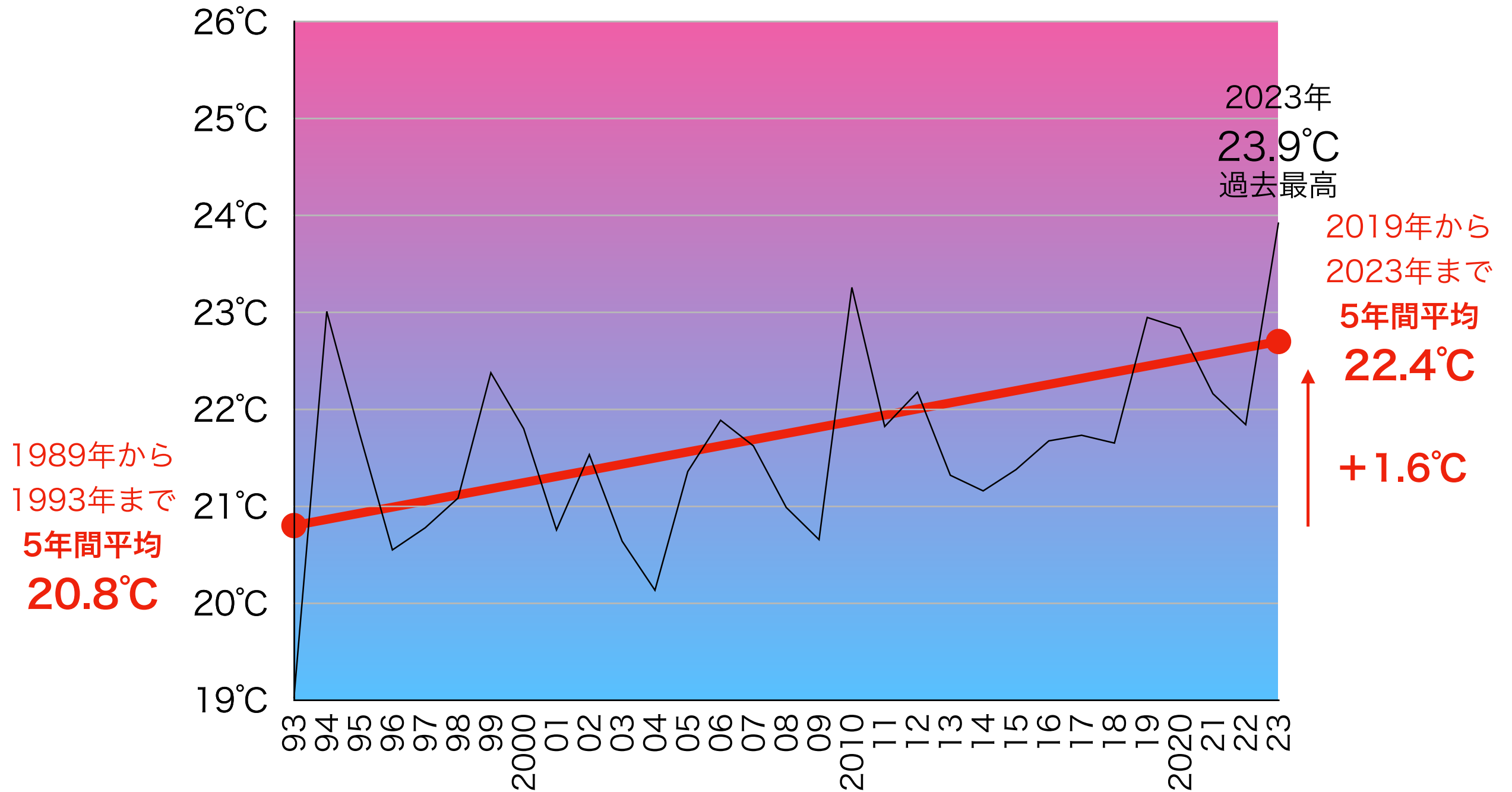
8月の日中最高気温の平均値推移（長野市）

気象庁データベースより独自作成



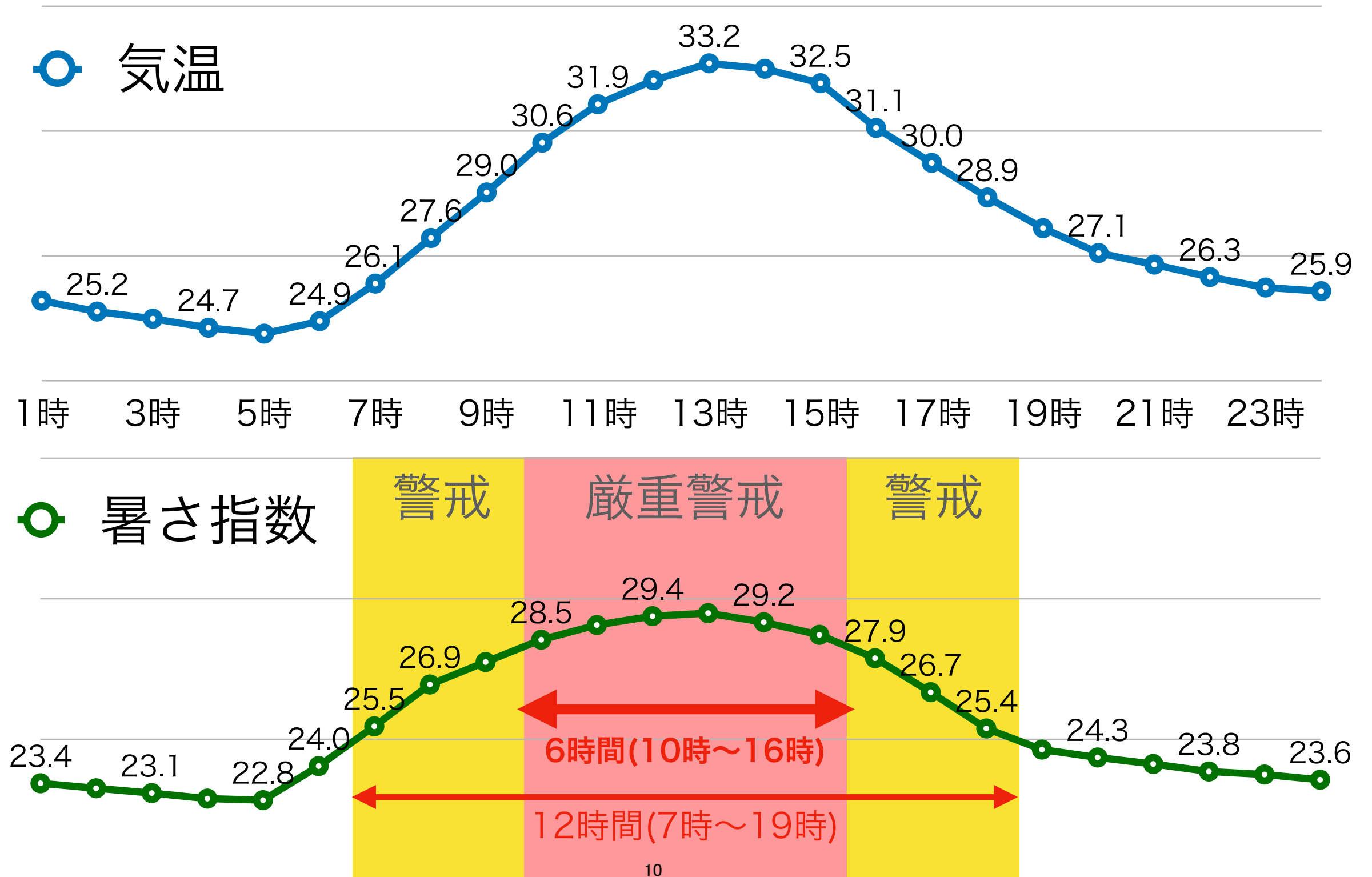
8月の日中最低気温の平均値推移（長野市）

気象庁データベースより独自作成



時刻ごと平均気温と暑さ指数

(長野) 2023年8月実測値平均



今回の調査の動機

ふだんから私たちが心掛けている視点と行動

SDH（健康の社会的決定要因）

健康であることやそうでないことには、自己責任ではなくその状態に至る社会的要因がある

Social Determinants of Health

アウトリーチ（手をさしのべること）

本来、援助が必要であるにもかかわらず、自発的に申し出をしない人々や、見えにくい状況に対して、支援者の側から積極的に働きかけてその実現をめざすこと。

背景と動機

調査結果

考察と提言

在宅訪問看護/介護利用者宅の室温調査

地域： 東信・中信・南信

対象： 長野県民医連加盟の在宅看護/介護事業所の
担当地域内の利用者宅

居室内が多いが一部ケアをする廊下など

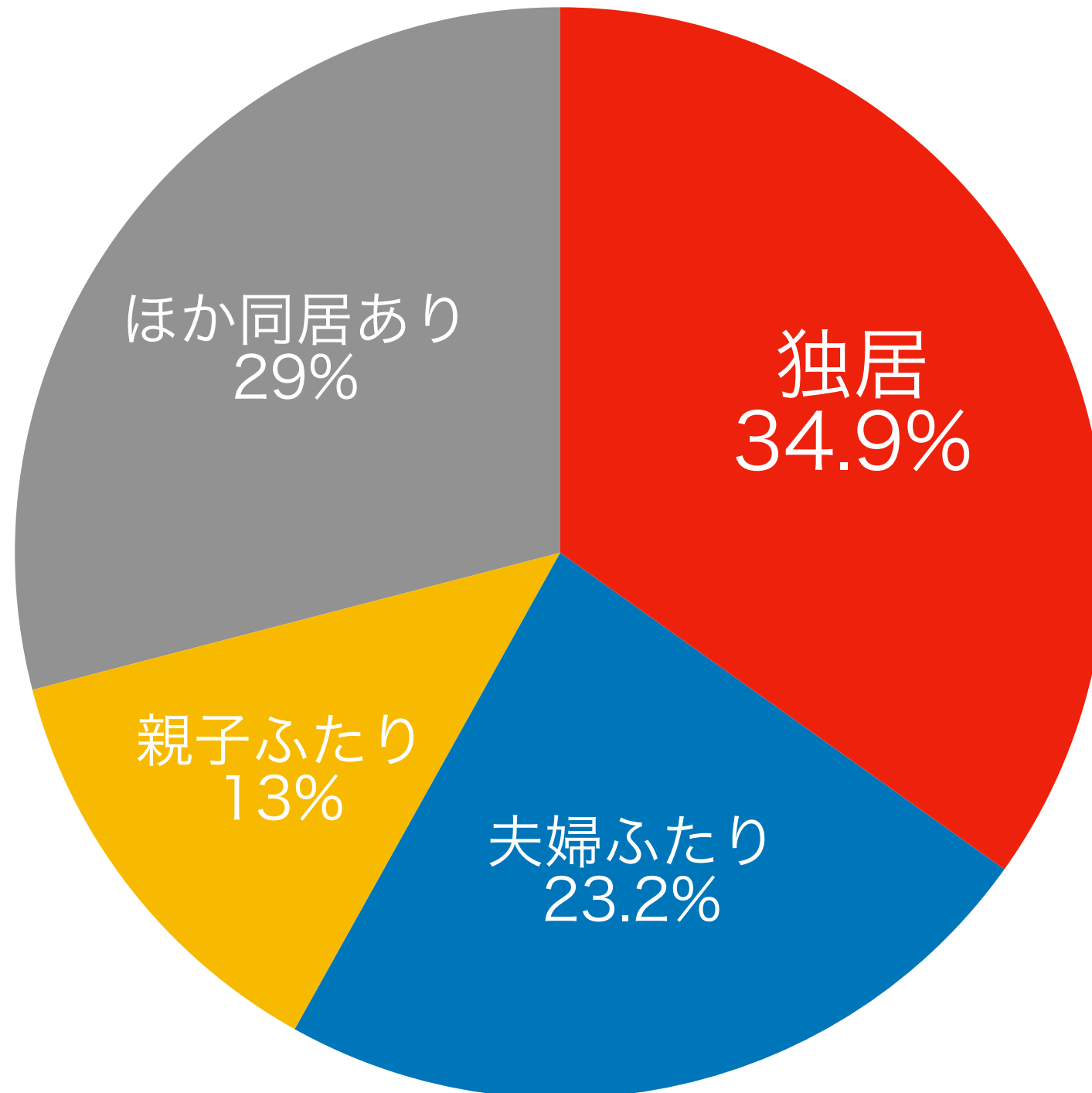
期間： 2023年8月中

時刻： 日中の訪問時（おおむね10時から16時）

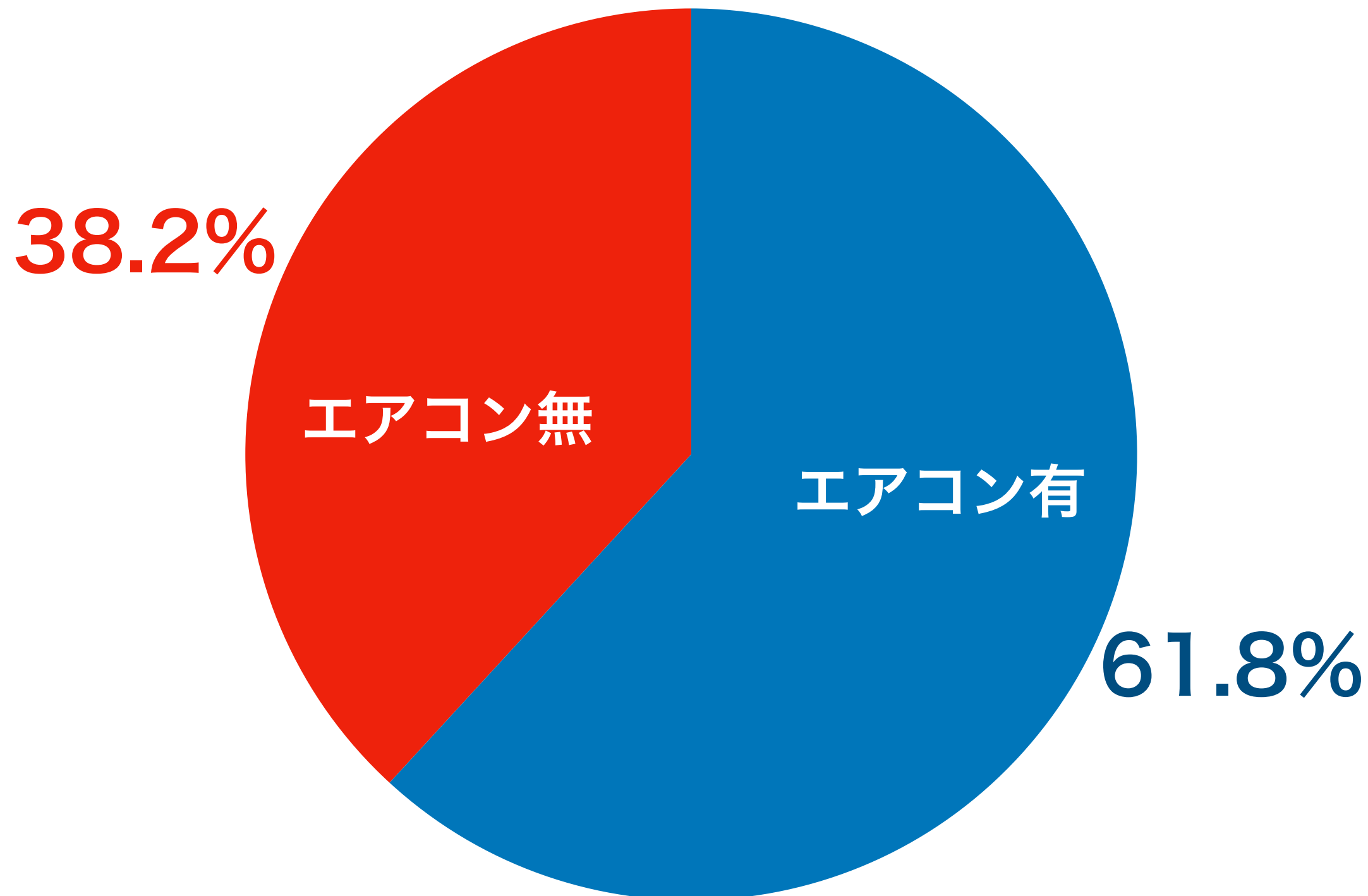
合計 241件

利用者年齢 54～102歳
(平均84.7歳、中央値86歳)

世帯構成

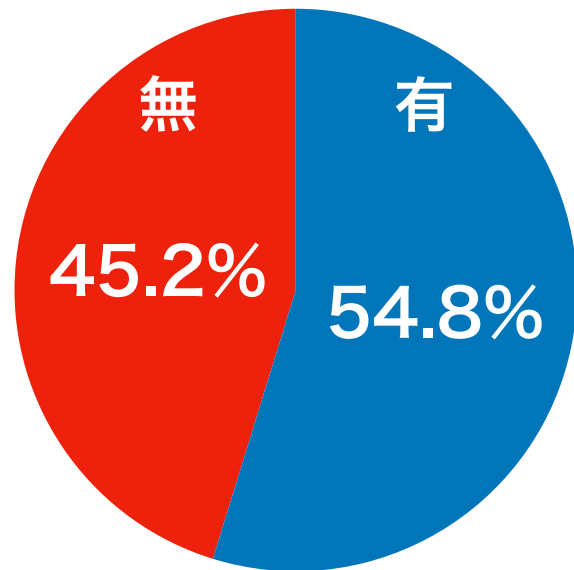


エアコンの有無

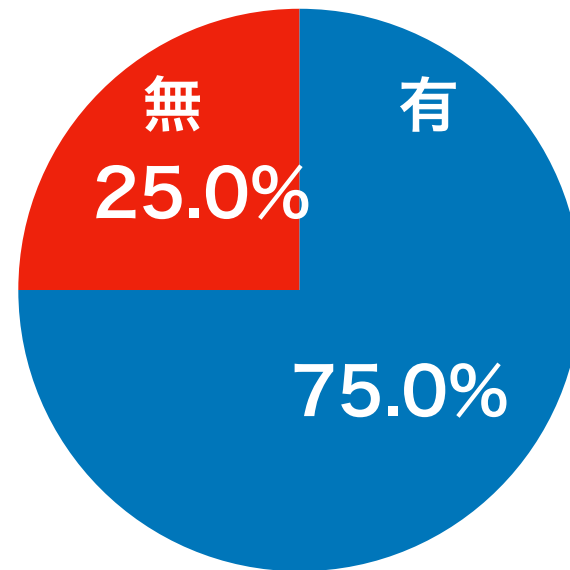


エアコンの有無（世帯種別）

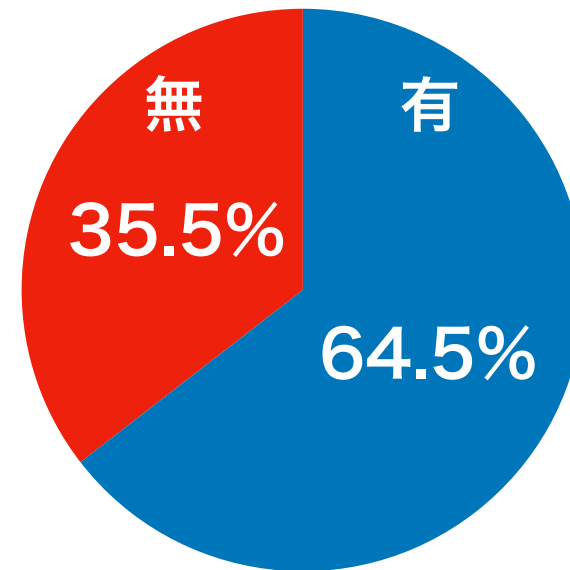
独居



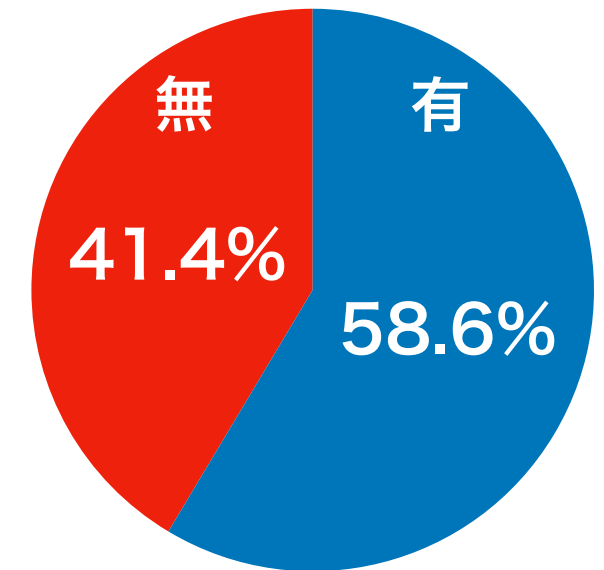
夫婦ふたり



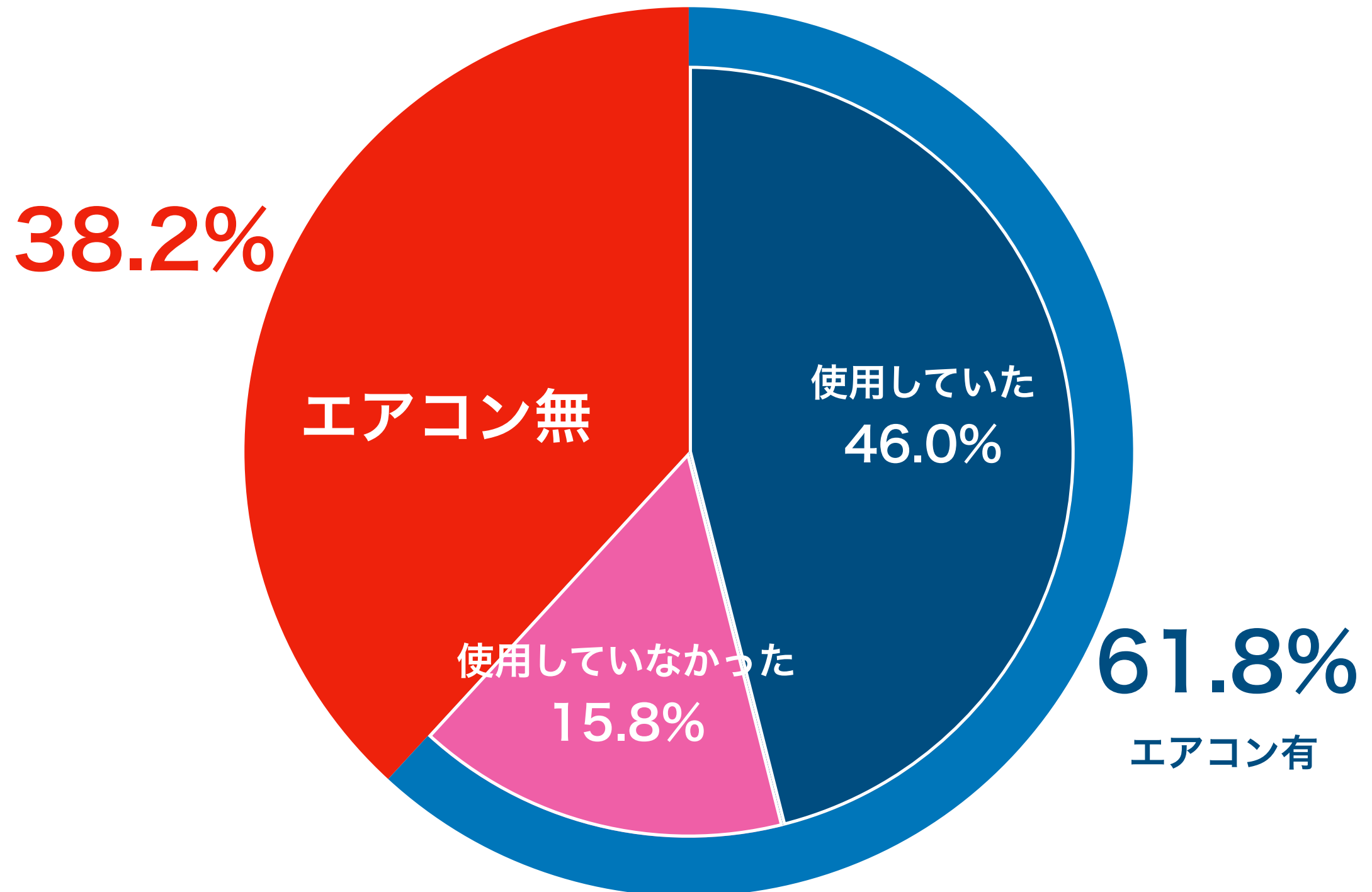
親子ふたり



ほか同居あり



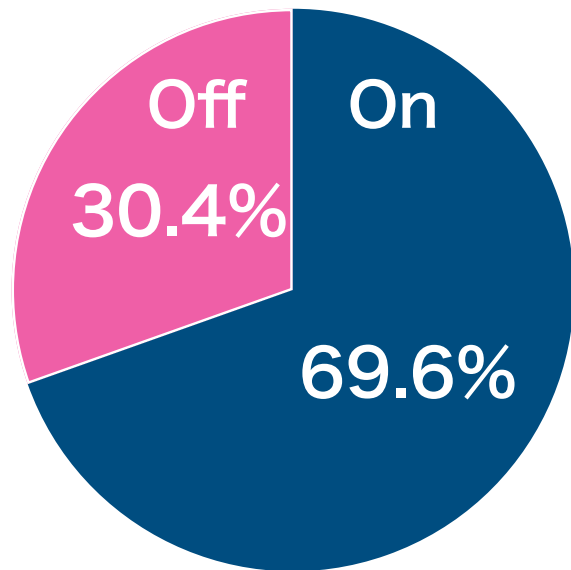
エアコンの有無と訪問時使用状況



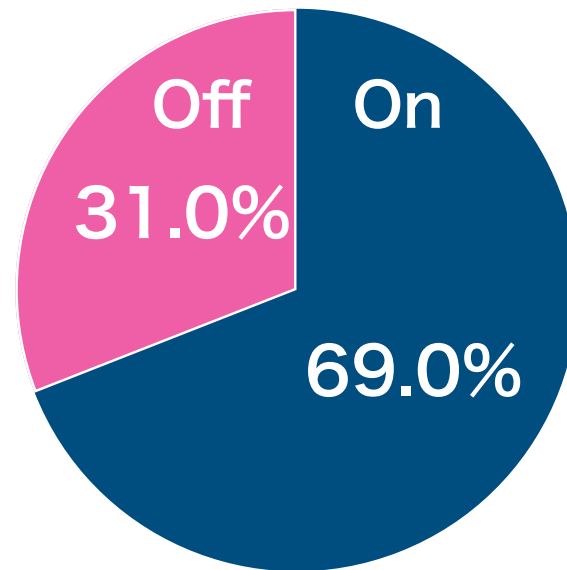
エアコンの使用状況（世帯種別）

（エアコンのある世帯）

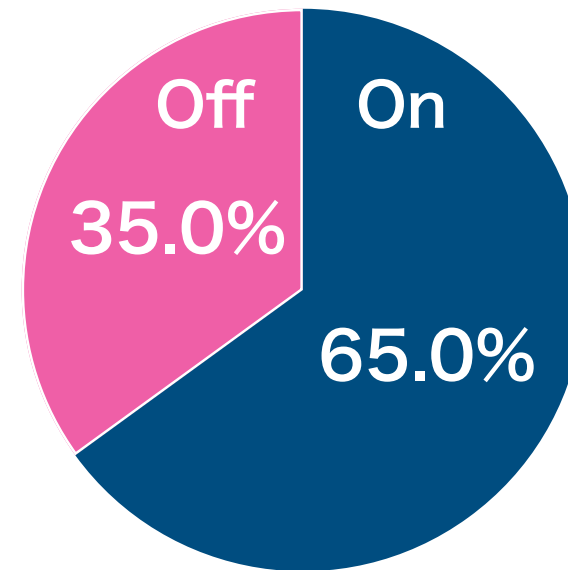
独居



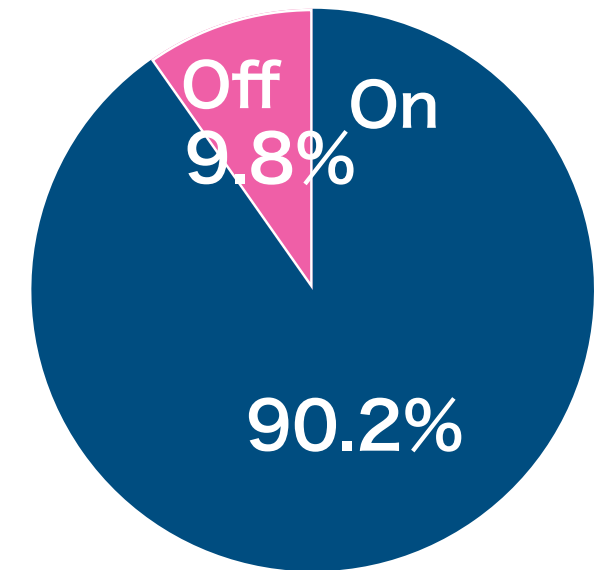
夫婦ふたり



親子ふたり



ほか同居あり



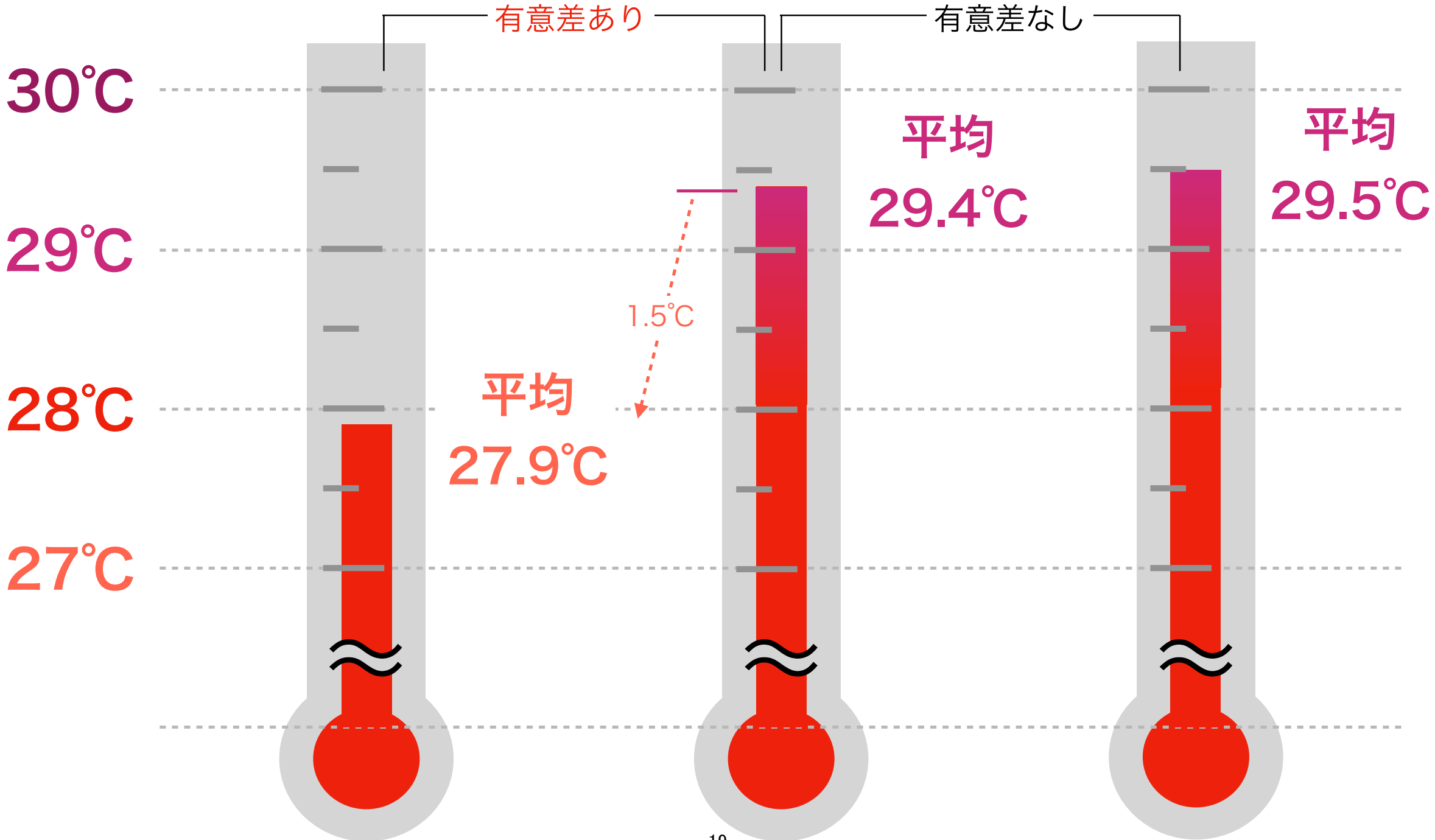
訪問時の屋内 室温

エアコン有

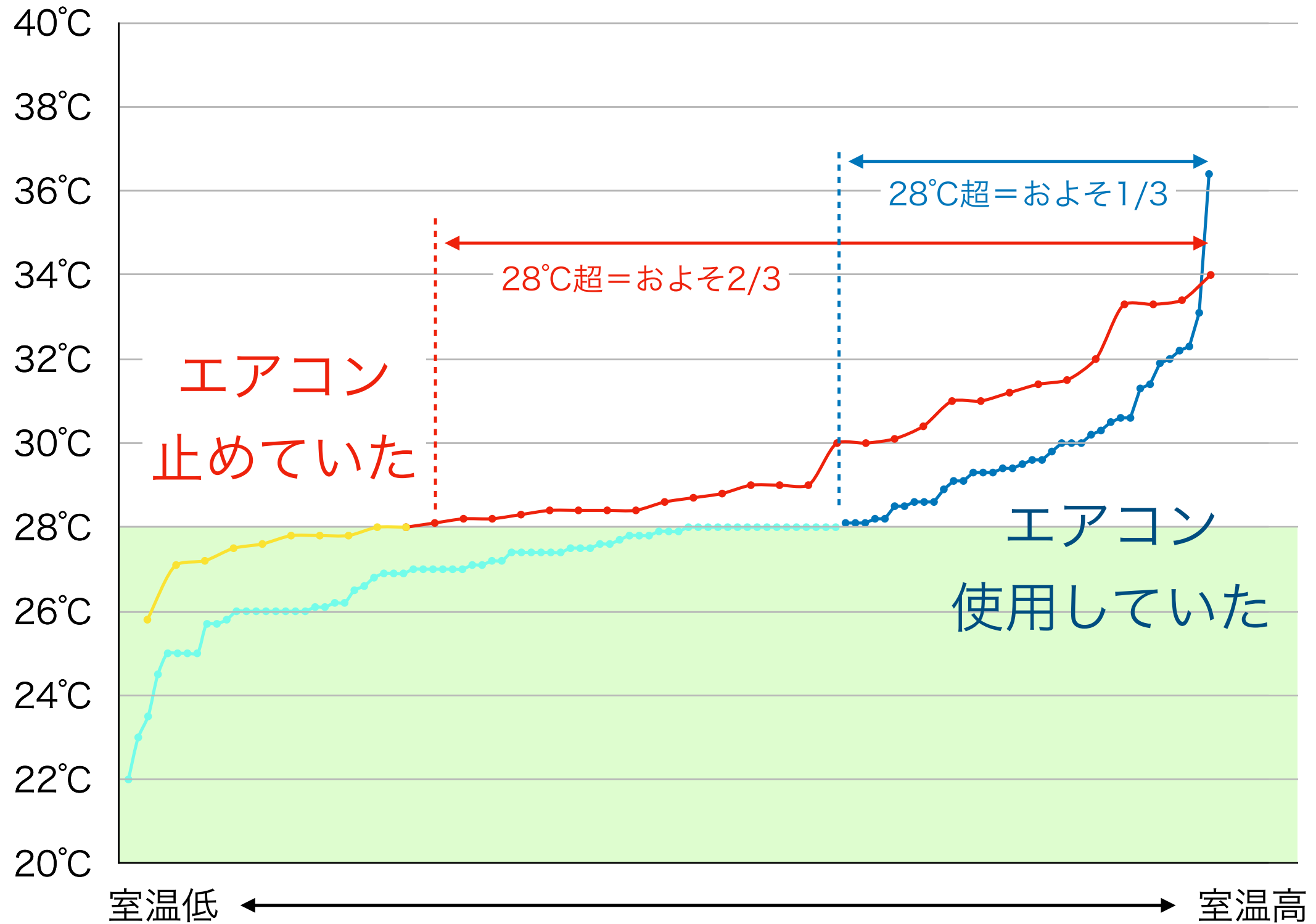
エアコン無

使用していた

使用していなかった



室温分布



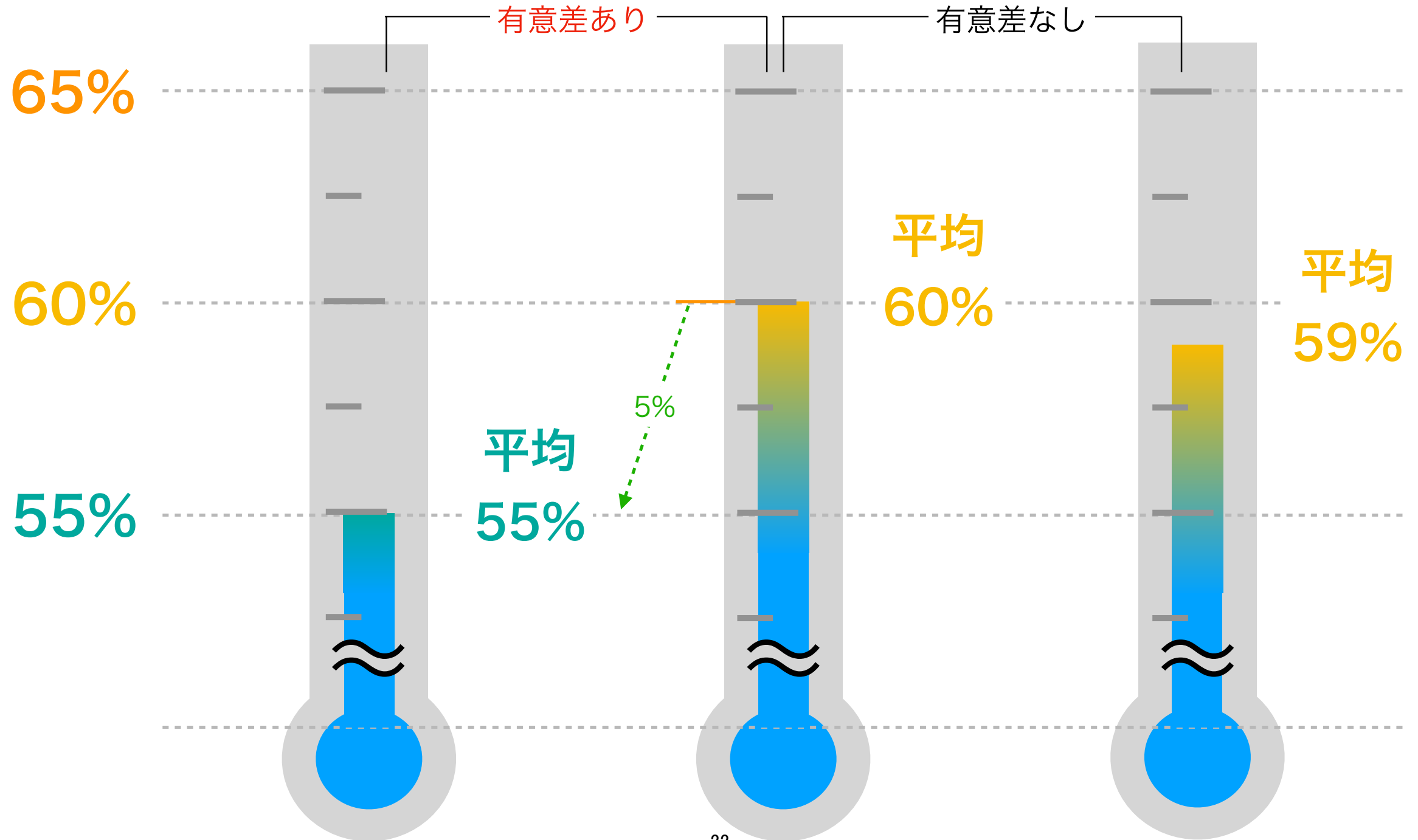
訪問時の屋内湿度

エアコン有

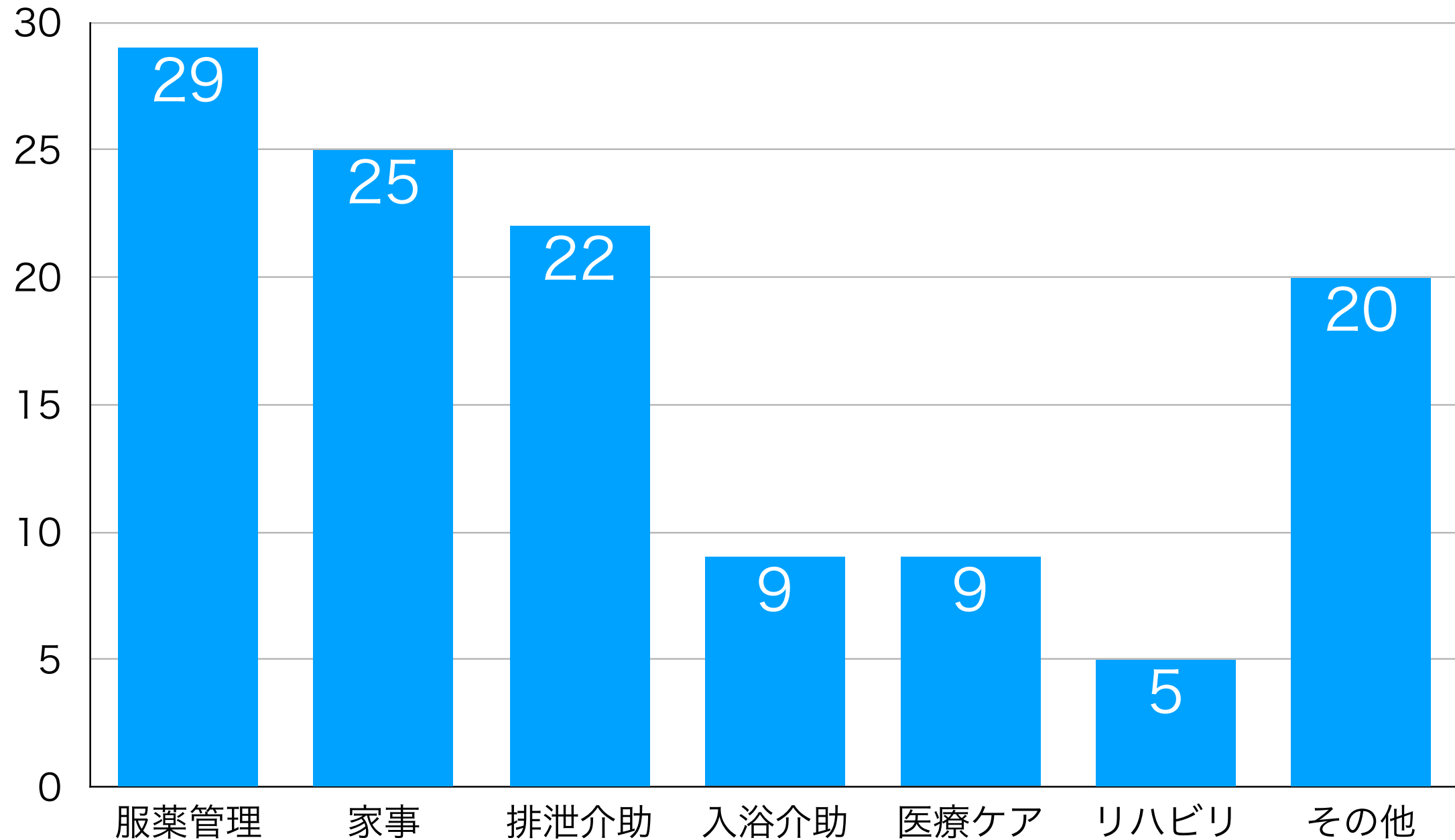
エアコン無

使用していた

使用していなかった



看護・介護の業務内容



背景と動機

調査結果

考察と提言

災害級の暑さと在宅高齢者

からだの恒常性維持機能の低下

- **同じ環境でも若年者より影響を受けやすく労作によらず熱中症に**
 - ・ 暑さや口渇を感じにくくなる、一方で寒さにも弱い
 - ・ 発汗しにくい、皮膚血流が低下する、結果的に熱の放散が弱い
 - ・ そもそも体水分量が少ない
 - ・ 心肺機能が低下していて暑さに弱い

体温調節行動の鈍化

- **暑さを回避する自律的な判断や行動が鈍る**
 - ・ 着衣や寝具をみずから変更できない身体能力の低下
 - ・ 冷房/空調機器/リモコンを使いこなせない
 - ・ 業者や適切なサービスにアクセスする力がない
 - ・ 節約意識、家族に負担をかけたくない思いが強すぎる方がいる

経済的格差、家族や近所とのつながりの格差が背景に

- **熱中症は格差社会での「弱者」を襲う“貧困病”の側面も？**

災害級の暑さと在宅高齢者

病院で働くものとしての思い

家にかえしてあげたい、でも家は災害級の暑熱環境
熱中症は治せても、そうなった背景は治せていない
誰かがなんとかしてくれているだろうか？

在宅訪問スタッフの思い

利用者さんの家は自分たちの働く場所、私たちもつらい
それでも利用者さんがそのような環境にいるのは一番心配
エアコンのスイッチ入れてきたけど切っていないかな？

高齢者の熱中症予防の ”自助・共助・公助”

めざすのは病弱高齢者宅の室温を2-3℃以上下げること（避暑）

**そもそも支援や介護の必要な高齢者には
「本人への呼びかけ」が有効ではないことを認識
認知機能・身体機能の衰え→自助できない**

**「家族や地域支援者の見守りや援助」も行き届きにくい
ほぼ半日で連日が一ヶ月以上続く警戒レベル→共助にも限界**



**在宅高齢者の熱中症を本当に予防するために、
自助/共助の前提としての有効な公助（公的支援）が鍵**

提言

めざすのは病弱高齢者宅の室温を2-3℃以上下げること（避暑）

エアコンの設置を急ぎ実現させる公助

設置費用の援助（クーポンなど）

設置、点検や修理をする業者へのインセンティブ

エアコンのスイッチを長時間・長期間入れさせる公助

なんととっても高騰する電気代への援助

他者からのチェックを頻繁・容易にする援助

高齢者や支援者が操作しやすいリモコンなど

さもなくば、室温のひくい場所への避難をさせる公助

施設や涼しい場所への避難の援助

- 猛暑の中でヘルパーや訪問看護師が調査した -
訪問看護/介護利用者宅内の室温

2023年 夏

長野県民医連 医療活動部

問い合わせ先

〒390-0803 長野県松本市元町2-9-11 民医連会館2F

長野県民医連事務局

TEL.0263-36-1390 FAX.0263-33-1229

担当者：医療部 関島・高野

<http://www.mintyo.or.jp/min-iren/>